

# あまりに多いゴミに びっくり

ビニールや木くず、コンクリートの破片などをトラックに積んできては捨てていく。このため空地や沢、道路わきの山林などいたるところにゴミ捨て場ができています。

そこで、産業廃棄物処理業連絡会（石井利平会長）は、環境週間にちなんで、9月25日不法投棄されたゴミの処理

を行ないました。作業は24人が3班に別れ、小型ダンプ9台で大淵や原田地区などを回りましたが、2時間余りの間に30台分のゴミを集めました。なかには腐って悪臭を放っているものやガラスの破片など危険なものもたくさんあり、作業をした人たちもおどろいていました。



【またたくまに小型ダンプ30台分を収集】

## 花だんコンクールの入選決まる

# 最優秀に西宮島B花だん

町内や学校、事業所などの花だんを対象に、このほど花だんコンクールを行ないましたが、西宮島Bが1位となり緑いっぱい市民の会会長賞を獲得しました。コンクールには35団体の参加がありましたので、審査員が各花だんの美観や手入れの状況などを見て回り、花だんごとに点数をつけて順位を決めました。いずれの花だんも手入れが行き届き、立派なものばかりで審査員も順位を決めるのに苦労していました。審査結果は次のとおり。

- 1位 緑いっぱい市民の会会長賞 西宮島B
- 2位 市長賞 富士本中町
- 3位 議長賞 西宮島A

- 4位 教育委員長賞 丘小学校
- 5位 観光協会会長賞 入山瀬駅
- 6位 花の会会長賞 前田B
- 7位 教育長賞 東小学校

このほかの参加者には、緑いっぱい市民の会から努力賞が贈られます。

表彰式は10月28日の「緑と花の百科展」の会場で、12時30分から行ないます。



【各地区の花だんを厳しくチェックする審査員】

## 中高層ビル火災に 新鋭車が

…消防署にシュノーケル車…

日本損害保障協会から富士市に、さきごろ屈折ハシゴ車（通称シュノーケル車）が贈られました。これは、損害保障協会が県に消防車など6台を寄贈しましたが、そのうちの1台で、1900万円ほどします。

シュノーケル車は、2本のハシゴを伸ばすと地上約15mまで届き、ハシゴの先に付いているバスケットが上下して中・高層ビル（3～4階）火災の時、消火と人命救助を行ないます。バスケットには、1度に3～4人のおとなが乗れるようになっています。なお、この車の特徴として、ハシゴの操作が地上とバスケットの中と両方でできるようになっています。（1面の写真）



## 土地の正しい管理を

市内の各所に荒れたままで放置されている土地が多く見られます。雑草が繁げり、病虫害の発生源となり隣接耕作者や付近の人に迷惑をかけています。また、雑草が枯れると火

がつきやすくなり大変危険です。農地や空地は草刈りをして、正しい管理をしてください。荒らしたままにしておくと、農地法の許可を取消すこともありますのでご注意を。